

無言清掃の実現に向けて

本年度の本校の努力事項のひとつが「無言清掃」です。これまでも、清掃への取組の姿勢として、「黙働」を目標に掲げ、その実践を呼びかけてきましたが、令和2年度は、「清掃中は話をせずに自分の担当に集中し徹底的にきれいにする」という「無言清掃」の実践に努力しているところです。このところ、生徒の間でもおしゃべりをせずに、掃除の時間は掃除にしっかりと取り組もうという気運が高まりつつあります。職員室周辺の掃除を担当している2年生はお互いに「無言清掃」を呼びかけている姿も見られ、清掃中は以前よりも静かに作業に取り組む生徒が増えています。まだ徹底はしていませんが、1年間かけて、どの清掃場面でも無言で取り組んでいる生徒の姿が常態になることを確信しています。



学力向上サポーターの紹介

授業が全面再開となり、1カ月以上が経ちました。多くの生徒が学校生活のリズムをようやく取り戻そうとしています。

さて、文部科学省では、学校再開後の教育活動（特に授業）をサポートするために人的配置の支援に向けた取組をすすめており、この動きを受けて、茨城県や水戸市でも学校をサポートする人材を募集しました。

本校では、7月27日（月）～10月27日（火）の間、週4日、飯島 新一先生に数学の授業のサポーターとして勤務していただきます。数学の授業がよりわかりやすく、より力の付く授業になるように努めていきます。



第1回 体育祭実行委員会

7月20日（月）、昼休みに「令和2年度体育祭第1回実行委員会」を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止及び熱中症対策のため、本年度の体育祭は規模縮小、時間短縮で実施する予定ですが、生徒たち自らの力と創意工夫で思い出に残る体育祭を実現してほしいと思います。以下、実行委員会の役員を紹介します。

実行委員長 黒澤 龍之介さん（3-4）
副実行委員長 小谷 蒼良さん（3-3）



中学生のころ（第11回）

わかぎ学級担任 田村 恵子

通っていた中学校のそばには農業試験場があり、草花が栽培されていた。部活動のない折、仲の良い友達と、そこでいろいろな話をして過ごした。クラスや家族のこと、将来のことなど、話は尽きなかった。卒業後は交流が途切れはしたが、この友人とは、今も相談したり、されたりする間柄である。私の中学校の思い出は、文化祭やら、合唱コンクールやら、様々な行事とともに、バラの花咲く中、共に話した友人との、ふんわりとした時間なのである。